## 2011 年度言語研修テキスト『シベ語の基礎』正誤表(2012 年 6 月 14 日版)

※行数の「 $\cdot$ x」は「下からx行目」を表わす。

ページ	行	誤	正	備考
16	-2	i. /uwa/	この行削除	「共鳴音間で有声
				化」に該当せず
52		alime <u>i</u> la	alime <u>ye</u> la	
52	-2	qubuliN	quwuliN	
53	5	ila	<u>ye</u> la	
55	10	話し手を除外する	聞き手を除外する	
67	1	<u>会話</u> 10	<u>単語</u> 10	
126-134		gɜl	g <sub>3</sub> T	例外は p.131 の -2
				ぐらいか
131		fusxulum	fusxu.m	他にも、母音間(音
				韻論的な)で1が接
				近音になっている
				例がある。fusxu.jyo
				など
140	-10	<u>G</u> wa	<u>G</u> wa	
141	3	<u>G</u> wa	<u>G</u> wa	
154	24	<u>h</u> erxeN	<u>x</u> erxeN	
162	-5	(参照文献が1つ抜けている)	津曲敏郎(2002)『満洲語入門	
			20 講』東京:大学書林。	